

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17212-2
課題名	骨シンチグラフィ検査の画像解析プログラム開発のためのデータベース作成
研究期間	西暦 2018年 5月 29日 ～ 2023年 12月 31日
研究の対象	2012年4月～2017年12月に当院にて骨シンチグラフィ検査を受けた癌患者
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：骨シンチグラフィ全身前後画像 DICOM形式ファイル） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（患者情報：身長・体重・年齢等、病歴特記事項、検査時特記事項）
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：東京農工大学および群馬県立県民健康科学大学）（提供方法：電子データ） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ） データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
研究組織	<b>研究代表者</b> 旭川医科大学 医学部放射線医学講座 沖崎 貴琢 <b>共同研究機関</b> 東京農工大学 大学院 工学研究院 清水 昭伸 <b>共同研究機関</b> 群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 大崎 洋充 <b>受託研究機関</b> 日本メジフィジックス株式会社 西川 和宏
研究の意義、目的	本研究は、骨シンチグラフィ検査の画像解析プログラム開発のために、プログラムを学習させるデータベース作成が目的です。骨シンチグラフィは、骨病変の経過観察や治療効果判定を目的として経時的に行われることが多く、経時の変化を評価するには、骨病変を定量化することが診断精度向上に寄与すると考えられます。よって、骨病変を定量的に評価する画像解析プログラムを開発し、骨シンチグラフィ診断の標準化を図り、骨病変の経過観察や治療効果判定に有用な客観的指標提供することで、患者管理や治療方針決定に寄与できると期待しています。今回は、その解析プログラムを学習させるデータベースを作成し、そのプログラムの解析性能を向上させることを目的としています。
研究の方法	現在開発中の骨シンチグラフィ検査の画像解析プログラムの学習用データベースを作成するために、当研究機関で実施された骨シンチグラフィの全身前後画像データから、特徴ある領域の選定及び病変判定を行う。
その他	当研究は、日本メジフィジックス株式会社 より受託研究費、関連する消耗品の提供、関連機器が貸与（又は譲渡）されますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過

	<p>を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先および研究責任者：  〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号  TEL：0166-65-2111（代表）  国立大学法人 旭川医科大学 医学部放射線医学講座 教授 沖崎 貴琢</p> <p>研究代表者：旭川医科大学 医学部放射線医学講座 教授 沖崎 貴琢</p>